

嶺南地域公共交通計画推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行					
事業主体	嶺南地域公共交通活性化協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R10 年度				
事業実施方法	負担金												□ 法定受託事務	□ 補助金	経過年数	6 年
補助率	—															
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕		政策	〔 10 交流を広げる基盤整備 〕		関連する県の計画等	〔 嶺南地域公共交通計画 〕								
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域の公共交通の活性化を図るとともに、新幹線開業により嶺南地域における人やモノの交流が拡大することから、小浜線やバスなど嶺南地域の二次交通の充実を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] JR小浜線の年間利用者数 R1: 1,500千人 → R5: 1,321千人 バス・乗合タクシー等の年間利用者数 R1: 824千人 → R5: 770千人										
[事業目的] 北陸新幹線敦賀開業に向けて、令和7年に策定した嶺南地域公共交通計画に基づき、小浜線の利活用促進、小浜線の魅力向上、バス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。																
[事業内容] 嶺南地域交通活性化協議会の運営 計画に位置付けた事業の進捗確認や、評価・検証を行うため、県・嶺南6市町、交通事業者等で構成する協議会を運営する。																
[受益者] 小浜線、バス等の利用者						[想定される受益者数] 209万1千人(令和5年度)										
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域における地域公共交通計画策定にかかる調査事業 (実績) 嶺南地域公共交通計画を策定				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域公共交通充実支援事業 (役割分担) 嶺南地域公共交通計画に記載の事業を推進し、公共交通の利便性向上を図る。									
市町との連携状況	計画を推進する協議会の構成員に嶺南6市町が参加				他県の状況		JR線を軸として計画を策定している他県の例 富山県：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画(H29.3月策定) 京都府：JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域交通網形成計画(H29.3月策定)									

嶺南地域公共交通計画推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行			
事業主体	嶺南地域公共交通活性化協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	負担金												□ 法定受託事務	□ 補助金	■ その他
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	40				40										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		40	40	40	3,821	40	計画策定完了による								
2月現計予算額の推移		40	40	40	3,821										
決算額の推移		40	40	40											
前年度までの 主な増減理由		R3:協議会を構成する委員数の減 R6:計画改定のための調査費等の増													
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	小浜線、バス等の年間利用者数(千人) (目標) 実績	1,940	2,049	2,091		(2,324)	(2,324)	(2,324)	嶺南地域公共交通計画における、JR小浜線(1,500千人)、バス・乗合タクシー等(824千人)の年間利用者数(R10年度末目標)毎年夏頃に実績公表 計画では令和10年度末までの成果指標のみ設定しており、年度ごとの成果指標は設定していない						
活動指標	嶺南地域公共交通活性化協議会の開催回数 (目標) 実績	(2) 2	(2) 1	(2) 1	(4) 4	(2)	(2)	(2)							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
5月、10月、11月、2月に協議会を開催し、活動指標を達成				必要に応じて、協議会の開催頻度について検討する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,781				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

嶺南地域公共交通充実支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	嶺南広域行政組合				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	ハード：2/3（市町1/3） ソフト：1/2（市町1/2）											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる（創造力）] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[嶺南地域公共交通計画]					
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域の公共交通の活性化を図るとともに、新幹線開業により嶺南地域における人やモノの交流が拡大することから、小浜線やバスなど嶺南地域の二次交通の充実を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] JR小浜線の年間利用者数 R1：1,500千人 → R5：1,321千人 バス・乗合タクシー等の年間利用者数 R1：824千人 → R5：770千人						
[事業目的] 嶺南地域の公共交通機関の充実や利便性向上を図るための取組みに対して支援する。												
[事業内容] 敦賀市 コミュニティバス等に導入した交通系ICカードICOCAシステムの運用 小浜市 市街地循環バスの実証運行 美浜町 コミュニティバス等に導入した交通系ICカードICOCAシステムの運用 チョイソコみはまの実証運行												
[受益者] 小浜線、バス等の利用者						[想定される受益者数] 209万1千人（令和5年度）						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 嶺南地域公共交通計画推進事業 (役割分担) 新幹線開業に向けて策定した嶺南地域公共交通計画に基づき、小浜線の利活用促進、小浜線の魅力向上、バス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。				
市町との連携状況		嶺南6市町が拠出した負担金で造成した「嶺南快速鉄道基金」を活用				他県の状況		—				

嶺南地域公共交通充実支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行			
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	ハード：2/3（市町1/3） ソフト：1/2（市町1/2）														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	17,682			(繰入) 17,682		地域振興基金									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			22,202	39,340	30,558	10,241	17,682								
2月現計予算額の推移			20,791	34,597	24,362	10,241									
決算額の推移			18,927	33,804	20,083										
前年度までの 主な増減理由	各年度、支援対象事業費により増減あり														
[成果指標等の推移]															
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	小浜線、バス等の年間利用者数(千人)	(目標) 実績	1,940	2,049	2,091		(2,324)	(2,324)	(2,324)	嶺南地域公共交通計画における、JR小浜線(1,500千人)、バス・乗合タクシー等(824千人)の年間利用者数(R10年度末目標)毎年夏頃に実績公表 計画では令和10年度末までの成果指標のみ設定しており、年度ごとの成果指標は設定していない					
活動指標	補助件数	(目標) 実績	(4) 4	(6) 6	(7) 7	(3) 3	(3)	(3)	(3)	嶺南広域行政組合を通じて行う市町等への補助件数					
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
敦賀市、美浜町、高浜町の3市町に支援を行い、活動指標を達成				引き続き、嶺南地域の公共交通機関の充実や利便性向上を図るための取組みに対して補助				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
敦賀市	交通系ICカードICOCAの運用							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
美浜町	交通系ICカードICOCAの運用							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					
高浜町	デマンド交通の実証運行 レンタサイクルの整備														

新幹線二次交通等整備促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行									
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度							
事業実施方法	補助																			
補助率	1/2																			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]													
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]														
令和6年春の北陸新幹線開業により、全国からの観光客等が大幅に増加している。そのため、新幹線駅等からの2次交通の充実を図る必要がある。						北陸新幹線福井・敦賀開業2か月間の来往者数 127.6万人(前年比129.5%)														
[事業目的]																				
まちなかの観光地を周遊する定額タクシーの新設を支援し、増加が見込まれる観光客等の移動手段の確保を図る。																				
[事業内容]																				
<p>(1) まちなか周遊交通の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① まちなか周遊定額タクシーの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光スポットを周遊できる定額タクシーの運行(あわら市、鯖江市、南越前町) ② 広域定額タクシーの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・市町境を超えた広域で観光スポットを周遊できる定額タクシーの運行(丹南地域) ③ まちなか周遊バスの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光スポットを周遊できるバスの路線拡充に対し運行経費を支援(敦賀市) ④ 福井駅発シャトルバスの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・福井駅と農林水産物販売拠点を結ぶ周遊バスの運行(福井市) <p>(2) 越前たけふ駅デマンド交通の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前たけふ駅(新幹線駅)と武生駅(在来線駅)を結ぶデマンド交通の運行(越前市) 																				
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 2,000万人(ふくい観光ビジョン観光客入込数目標値(令和6年))														
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名												
市町との連携状況						他県の状況														

新幹線二次交通等整備促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	25,762					25,762							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					17,558	40,472	25,762	6年度実績による市町事業費の減					
2月現計予算額の推移					17,588	36,385							
決算額の推移					6,273								
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標) 実績				(5,835)	(5,316)	(5,316)	(5,316)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度6月頃に公表予定			
活動指標	補助事業件数	(目標) 実績			(4) 5	(6) 7	(7)	(7)	(7)	補助対象事業数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
7件に補助し、活動指標を達成 福井市……ぐるぐる周遊バスの導入 敦賀市……ぐるっと敦賀周遊バスの増便 あわら市、鯖江市、南越前町、丹南地域……定額タクシーの導入 越前市……まちなかデマンド交通の導入				引き続き補助を実施し、増加が見込まれる観光客等の移動手段の確保を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	14,710		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

公共交通維持・確保支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町、事業者				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2~10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 近年、公共交通の運転士の高齢化や不足、長時間労働が課題となっている中、減便など利用者の利便性に深刻な影響が出ることが懸念されることから、運転士確保対策を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内有効求人倍率 (R6.9) 運輸2.97 全体1.93						
[事業目的] 運転士の確保を図る事業者支援や県民の移動手段確保に向けた緊急対策を実施する。												
[事業内容] (バス) <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 運転士等の待遇改善支援 (補助率: 1/2~10/10) ⑧ 運行奨励金の支給 (補助率: 10/10) <ul style="list-style-type: none"> ・ 二種免許取得費用支援 (補助率: 10/10) ・ 運転体験会・合同説明会の開催支援 (補助率: 1/2)、事業者が実施する人材確保に関するPR経費への支援 (補助率: 1/2) ・ 人材紹介会社の活用支援や人材確保コンサルの活用支援 (補助率: 10/10) ・ 運転士の負担軽減機器等導入支援 (補助率: 2/3)、新規参入事業者の環境整備支援 (補助率: 2/3) <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町が運行するデマンドタクシーなど新たな代替交通への転換支援 (補助率: 初年2/3、2年目以降1/2) (最大3年間) ・ 就職奨励金給付 (40万円/人(高卒)、30万円/人(その他対象者)) (タクシー) <ul style="list-style-type: none"> ・ 合同説明会の開催支援 (補助率: 1/2) ・ 事業者が実施する人材確保に向けたPR経費への支援 (県1/2) ・ 二種免許取得支援 (県1/2) ・ 就職奨励金給付 (30万円/人、5万円/人(副業者)) 												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	各市町と協調し、事業者が実施する運転士の待遇改善を支援。また、各市町は、減便・廃止になった路線バスの代替手段の確保を図り、地域の生活交通の確保に努めており、県は市町のこれらの取組みに対して補助を行っている。				他県の状況		—					

公共交通維持・確保支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行	
事業主体	市町、事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2～10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	360,716	158,812			201,904	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				13,218	20,383	360,716	運転士不足による路線バス減便への緊急対策実施のため					
2月現計予算額の推移				13,218	149,532							
決算額の推移				8,485								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	運転士新規採用人数 (目標) 実績			(15) 13	(55) 64	(75)	(92)	(185)	バス(45人)・タクシー運転士(30人)新規採用数(単位：人) ※県就職奨励金対象者数(実績は4月に確定)			
活動指標	説明会・体験会実施回数 (目標) 実績			(8) 9	(8) 13	(8)	(8)	(16)	補助事業(運転体験会・説明会)の実施回数(単位：回)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
13回のバス・タクシー運転士募集説明会を実施し、活動指標を達成 <就職奨励金給付対象者数> バス運転士採用数 38名 タクシー運転士採用数 26名 新規採用者数 合計 64名 (R7.3月時点) 64名の運転士が新規採用され、成果指標を達成				各事業者が実施する人材確保の取組みについて支援を実施するとともに、運転士不足を原因とする減便・廃便を行った路線バス事業者に対して緊急的な支援を実施する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

物流事業者における人材確保支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行
事業主体	トラック協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 〕					
[解決すべき問題・課題] トラックドライバーの働き方改革に関する法律の適用により、物流事業者は「2024年問題」に直面している。県内物流事業者の中でも特に中小零細事業者が適切に対応できるよう支援する。						[問題・課題を表す客観的データ] 2024年問題に対して対策を講じない場合、2024年度は14%、2030年度は34%の輸送力不足の可能性(国試算)						
[事業目的] 物流事業者の人材確保を図るため、大型・中型運転免許の取得や荷役作業の省力化機器の導入を支援する。												
[事業内容] (1) 大型・中型運転免許取得費用支援 補助率 1/2 補助上限 1人あたり15万円 人数 40人 (2) 荷役作業の省力化機器等の導入支援 補助率 1/2 補助上限 1社あたり50万円 想定：テールゲートリフター、標準パレット、アシストスーツ など 件数 10事業者												
[受益者] 県内物流ドライバー						[想定される受益者数] 約7,500人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	(愛媛県) 物流効率化に資する機器等導入経費支援 (富山県) 生産性向上に資するシステムや機器等導入経費支援					

物流事業者における人材確保支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行				
事業主体	トラック協会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	11,249				11,249										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					11,235	11,249	郵便料金上昇による								
2月現計予算額の推移					11,235										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	新規ドライバー数 (目標) 実績				(40) 40	(40)	(40)	(80)	県トラック協会会員企業の約1割にあたる40社、1社あたり1人 ※県支援(大型・中型運転免許取得支援)によるものに限る						
活動指標	県の支援制度を活用する 物流事業者数 (目標) 実績				(50) 50	(50)	(50)	(100)							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
交付決定額全額を執行見込のため、成果指標・活動指標は達成見込				引き続き、運転士不足の解消や省エネ化を図るための取組みに対して補助				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

次世代地域公共交通推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県、市町				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 交流を広げる基盤整備				関連する県の計画等							
[解決すべき問題・課題] 車への依存や少子化の影響により、バスの利用者は減少傾向が続き、路線の維持・確保が難しい状況になっている。このため、公共交通の利便性を高め、利用者を確保することが不可欠である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県人口 H25年10月：794,492人 → R5年10月：744,568人 (△6.3%) ・県の65歳以上人口 H25年10月：211,981人 → R5年10月：232,132人 (+9.5%)						
[事業目的] 人口減少社会の進展やコロナウイルス感染症の拡大により、鉄道やバス等の地域公共交通の利用者数が減少する中、将来にわたって地域の公共交通の維持・確保が重要となっている。そのため、地域公共交通の基盤整備に向けて、交通事業者や市町が行う新しい技術や手法の導入について支援するとともに、新たなモビリティサービスの導入について、交通事業者や市町等と情報共有することにより、交通分野におけるDX化を推進し、地域住民や来県者の利便性向上を図る。												
[事業内容] I 次世代地域公共交通検討会議の開催 (597千円) ○DX技術の活用による利便性の向上、地域の実情にあった地域交通の効率化の検討 ・DX技術を活用した路線バス等の運行状況の情報提供や新たなモビリティサービスであるAIデマンド交通の導入等 II 次世代地域公共交通推進事業補助金 (8,000千円) ○公共交通需要に対応した移動サービスの提供 補助対象事業 地域公共交通の需要に対応した移動サービスを提供し、利用者の利便性向上を図る事業 ・バスロケーションシステムの整備、案内サイネージの整備等 補助率等 1/2 (補助上限2,000千円、広域連携事業は上限3,000千円) 対象者 市町、交通事業者 等												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,018千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新モビリティサービス推進事業 (実績) 路線バス等の経路検索、キャッシュレス手段の導入、鉄道とバスの共通定期券や乗継割引などの検討・実証の支援、バス路線等の乗継拠点の環境整備を支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	次世代の地域公共交通を検討する検討会の構成員に各市町が参加					他県の状況		富山県・岐阜県 ・AI等の技術を活用した新たなモビリティサービス等の運行に伴う経費を支援				

次世代地域公共交通推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,597				8,597							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					8,728	8,728	8,597					
2月現計予算額の推移					7,328	6,128						
決算額の推移					3,619							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	公共交通機関利用者数 (千人)	(目標) 実績	17,645	19,389	(21,054) 20,018	(21,190)	(20,564)	(20,564)	(20,564)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度6月頃に公表予定		
活動指標	補助事業件数	(目標) 実績			(3) 3	(3) 3	(3)	(3)	(3)	次世代地域公共交通の導入件数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代地域公共交通検討会議を2回開催した。 ・補助事業件数は3件となり、活動指標の目標を達成 				<ul style="list-style-type: none"> ・次世代地域公共交通検討会議や交通事業者・市町ヒアリングを踏まえ、公共交通のDX化に資する事業を支援 ・会議の開催回数を実績を踏まえて見直し 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

路線バス利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県、民間事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕				関連する県の計画等		〔 〕				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
人口減少によりバス路線の利用者数は減少しており、地域住民の移動手段として必要不可欠なバス路線の維持・確保が困難になっている。						<ul style="list-style-type: none"> ・ 県人口 H25年 1月：798,633人 → R5年 8月：745,376人 (△6.7%) ・ 県の65歳以上人口 H25年10月：211,981人 → R5年10月：232,132人 ・ バス利用者 H25年 6,197人 → R5 4,711千人 (△24.0%) 						
[事業目的]												
今までバスを利用しなかった人が、利用するきっかけをすることでバスの利用促進を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○スタンプラリーの開催(想定：夏期) <ul style="list-style-type: none"> ・バス停にQRコードを設置し、モバイルスタンプラリーを実施 ・スタンプの個数に応じて景品抽選に応募が可能 ○バス利用者への特典配付 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停近くで開催されるイベントにおいて、バス来場者に対して特典(景品やクーポンなど)を配付 ○バス利用者へのバスカード配付 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者や路線の特色を反映したバスカードを作成し、バス利用者配布 												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人(R5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	バススタンプラリー 愛知県(R4) バスでおでかけキャンペーン(半田・常滑) (対象バス) 半田市、常滑市で運行されている知多バスの路線バス 半田市、常滑市コミュニティバス					

路線バス利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県、民間事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,361	5,520			2,841		電源立地地域対策交付金（移出県）						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					12,073	8,361	6年度実績による事業内容見直しによる						
2月現計予算額の推移					9,290								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標)			(5,835)	(5,316)	(5,316)	(5,316)	福井県長期ビジョン（令和6年目標） 実績は翌年度6月頃に公表予定				
活動指標	路線バスデジタルスタンプラリー スタンプ数	(目標)			(3,200)	(4,000)	(4,800)	(4,800)	年間輸送人員3,193千人×0.1%（参加者）×1.5（事業効果） ≒4,800人				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価					
<外的要因> 路線バスが減便となり、スタンプラリー対象便数が減少したことにより活動指標は未達成					・事業者意見を踏まえ、バス無料デーを廃止 ・バス利用を促す新たな事業としてバスカードの配布を実施予定			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町、事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	H13 年度 経過年数 25 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助							■ 補助金				
補助率	①：1/2 (国1/2)、②③：1/2 (市町1/2)							□ その他				
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[福井県高速交通開通アクション・プログラム]					
[解決すべき問題・課題] 高齢化により公共交通の重要性が増している中、人口減少により生活バス路線の利用者数は減少しており、地域住民の移動手段として必要不可欠な生活バス路線の維持・確保が困難になっている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県人口 H25年 1月：798,633人 → R5年 8月：745,376人 (△6.7%) ・県の65歳以上人口 H25年10月：211,981人 → R5年10月：232,132人 (高齢化率26.9%) (高齢化率31.6%)						
[事業目的] 地域住民の生活に必要な不可欠な生活バス路線の運行を維持し、地域住民の福祉向上を図る。												
[事業内容] ○生活バス路線維持のための補助 ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 (国庫) ②広域生活バス路線維持対策事業補助 (県単：複数市町運行系統) ③市町生活交通維持支援事業補助 (県単：同一市町内運行系統)												
[受益者] バス利用者 (通学者、通勤者、高齢者、来県者等)						[想定される受益者数] 4,711千人 (令和5年度)						
前事業の有無・実績		□ 無 ■ 有 事業名 バス事業活性化対策推進事業 (実績) ノンステップバスの導入および廃止路線代替バスの運行費に対する補助のみであったが、バス利用者数の減少等により事業者の採算性の確保が困難となってきたことや、市町コミバスの導入が進んできたことから、広域路線の運行費については事業者に、同一市町内路線の運行費については市町に補助を行っている。				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		各市町は、コミバスや乗合タクシーの運行および市町内の路線バスへの補助を行い地域の生活交通の確保に努めており、県は市町のこれらの取組みに対して補助を行っている。				他県の状況		(富山県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費 ②生活路線運行費補助金 (同一市町村の路線でも補助対象となる以外、国庫補助と同じ規定) ③市町村運行バス路線対策補助金 (コミバス) ④NPO過疎地バス路線支援事業費補助 (石川県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 ②県単運行費補助、車両購入費補助 ③生活バス利用促進対策費補助金				

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	市町、事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H13 年度 経過年数 25 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	①：1/2 (国1/2)、②③：1/2 (市町1/2)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	467,397				467,397							
[予算額の推移等]											(単位：千円)	
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	497,621	469,483	465,087	503,766	467,397							
2月現計予算額の推移	497,621	469,483	465,087	503,766								
決算額の推移	497,547	469,443	465,068									
前年度までの 主な増減理由	令和6年度 補助路線数増加により地域間幹線系統確保維持費補助補助額が増加											
[成果指標等の推移]												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標) 4,549 実績	(5,835) 4,582	(5,835) 4,711	(5,835)	(5,316)	(5,316)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度6月頃に公表予定				
活動指標	補助対象バス実車走行キ □	(目標) 6,238 実績	(8,185) 6,675	(8,185) 6,478	(8,185)	(8,185)	(8,185)	乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間実車走行キロ数 (単位：千km) 実績は翌年度6月頃に公表予定。				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
人口減少などの影響に加え、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ利用者数は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス拡大前の水準には戻っていない。 市町内路線の分析シートを作成し、各市町の地域公共交通会議で分析結果を提示することで、地域の実情に応じた利用促進策の協議につなげた。				新型コロナウイルスの影響により落ち込んだバス利用者の回復が未だ図れていないことや運転士不足による減便・廃止が行われていることから、市町や事業者、福井運輸支局とともに、路線ごとの生産性向上の取組みについて協議する。また、市町内路線の分析シートを活用し、収支改善や利便性向上のための取組みについて検討していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体		福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井県は1世帯当たり自家用乗用車保有台数が全国第1位の約1.685台で、全国トップクラスの車社会であり、過度のクルマ依存は公共交通の衰退につながる。						[問題・課題を表す客観的データ] 1世帯当たりの自家用乗用車保有台数 1.685台 (全国第1位)						
[事業目的] 過度なクルマ利用を見直し、公共交通機関や自転車等への転換を促すカー・セーブ運動を「福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」が中心となり、社会全体で取り組む県民運動として推進する。												
[事業内容] ○福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議運営 ・県民会議を中心として県内各地の関連イベントでの啓発活動等による県民へのカー・セーブ運動の周知、広報活動の実施、バイコロジー活動に対する支援。												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ノーマイカー交通促進支援事業 (実績) ノーマイカーデーはH11年度から毎月1日、16日に実施していたが、H20年度から金曜日に公共交通機関や自転車利用、相乗りの実施等によりクルマの利用を控える「カー・セーブデー」に拡大。(H20年度は第2・4金曜日、H21年度以降は毎週金曜日)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域公共交通計画推進事業 (役割分担) 新幹線開業に向けて策定した嶺南地域公共交通計画に基づき、小浜線の利活用促進、小浜線の魅力向上、バス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。				
市町との連携状況		県民会議の構成員である各市町において、広報誌等における広報活動やイベントでのチラシ・啓発グッズの配布等を実施している。				他県の状況		(富山県) 「富山県公共交通利用促進協議会」を設置し、ノーマイカー運動を実施し、チラシ作成・配布や広報活動を実施。(構成員：県、市町村、交通事業者、経済界および利用者) (富山県・石川県) バス事業者や市町、協議会等が取り組む先駆的・効果的な利用促進策に対して助成				

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,492				2,492								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		2,769	2,492	2,492	2,492	2,492							
2月現計予算額の推移		2,769	2,492	2,492	2,492								
決算額の推移		2,769	2,492	2,492									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	公共交通機関利用者数 (千人)	(目標) 20,783	(20,919)	(21,054)	(21,190)	(20,564)	(20,564)	(20,564)	福井県長期ビジョン（令和6年目標） 実績は翌年度6月頃に公表予定				
		実績 17,650	19,389	20,006									
活動指標	広報活動の実施回数	(目標) (2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	県民運動推進月間（10月）および公共交通利用促進強化月間（3月）に おける広報活動の実施回数				
		実績 2	2	2	2								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
県民運動推進月間および公共交通利用促進強化月間における広報活動を計2回実施し、活動指標を達成 県内を運行する鉄道バスにまつわるエピソードを県民から募集（募集期間7/19～9/30）し、142件の応募あり。受賞作品は表彰式を実施し、ホームページで公開するとともに、鉄道やバス車内広告で掲示するなど、広く周知。				今後は路線バス減便を受けた新たな公共交通利用促進や自転車計画改定を受けた自転車利用の促進を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

自転車活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 交流を広げる基盤整備				関連する県の計画等	〔 福井県自転車活用推進計画 〕						
[解決すべき問題・課題] 1世帯当たりの自家用乗用車保有台数が全国第1位の1.69台(R6.3時点)であり、自転車の使用頻度が全国平均を下回っており、環境への負荷の低減、健康の増進の観点からも自転車の利用促進を図ることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・1世帯当たりの自家用乗用車保有台数 1.69台(全国第1位) ・1か月間の自転車の平均使用頻度 9.4日(全国平均10.2日)						
[事業目的] 今後の福井県における自転車利用促進の指針となる「第2次福井県自転車活用推進計画」(令和元年度策定)に記載の各種施策を実施する。												
[事業内容] 福井県自転車活用推進会議の運営 ・計画に定めた各種施策の進捗に関するフォローアップ												
[受益者] レンタル・シェアサイクル利用者						[想定される受益者数] 3万6千人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自転車利用促進事業 (実績) 「福井県自転車活用推進計画」の策定					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町の自転車活用推進計画策定促進のための説明会を開催					他県の状況	—					

自転車活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	83					83						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			84	84	84	3,552	83	6年度の計画策定完了による				
2月現計予算額の推移			84	84	84	3,552						
決算額の推移			70	70	47							
前年度までの 主な増減理由		R6：第2次福井県自転車活用推進計画の策定に向けた県民アンケートの実施、協議会の設置・運営費の増										
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	レンタル・シェアサイクルの年間利用者(人)	(目標) 実績	14,000	23,000	36,000	(15,000)			(40,000)	計画で令和11年度末までの成果指標のみ設定(年度ごとの成果指標は設定していない) (第1次計画：R6末 15,000人、第2次計画：R11末 40,000人) 人数は各年度末に集計のため、翌年度4月に確定		
活動指標	福井県自転車活用推進会議の開催回数	(目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 4	(1)	(1)	(1)	国の指針に基づく計画のフォローアップ回数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
レンタル・シェアサイクルの年間利用者数は右肩上がりに推移しており、第1次福井県自転車活用推進計画の最終目標であるR6年度末の成果指標を達成見込 計画改定のため4回会議を開催(5月、10月、11月、2月)し、活動指標を達成 第2次福井県自転車活用推進計画策定				第2次福井県自転車活用推進計画(計画期間：R7～R11)に基づく施策実施にあたりフォローアップ会議を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,469	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

嶺北地域公共交通計画推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	嶺北地域公共交通活性化協議会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕		政策	〔 10 交流を広げる基盤整備 〕		関連する県の計画等	〔 嶺北地域公共交通計画 〕				
[解決すべき問題・課題] 嶺北地域において利便性が高く将来にわたって持続可能な地域交通ネットワークを実現する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・嶺北地域のバスの人口1人当たり年間輸送人員 R元年度：2.7回 → R5年度：2.4回						
[事業目的] 新幹線駅の交通ネットワークの充実とともに、並行在来線・えちぜん鉄道・福井鉄道・JR越美北線の鉄軌道網と広域路線バスを軸とした地域公共交通計画を策定し、公共交通機関の利活用促進、鉄軌道網とバス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。												
[事業内容] 嶺北地域公共交通活性化協議会の運営 計画に位置付けた事業の進捗確認や、評価・検証を行うため、県・嶺北市町・交通事業者等で構成する協議会を運営する。												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,018千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	計画を推進する協議会の構成員に嶺北11市町が参加					他県の状況	全国で地域公共交通計画を策定					

嶺北地域公共交通計画推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行			
事業主体	嶺北地域公共交通活性化協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	負担金												□ 法定受託事務	□ 補助金	■ その他
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	180				180										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					180	180									
2月現計予算額の推移					180										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	地域鉄道3社の1日当たり利用者数 (目標) 実績							(36,000)	嶺北地域公共交通計画における、地域鉄道3社（ハピラインふくい、福井鉄道、えちぜん鉄道）の1日当たり利用者数（10年度末目標） ※計画に年度ごとの目標は設定していない						
活動指標	嶺北地域公共交通活性化協議会の開催回数 (目標) 実績				(2) 1	(2)	(2)	(2)	年2回						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
5月に協議会を開催 協議会1回分に代えて部会を複数回開催済みのため、活動指標は事実上達成					—				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
									■ 継続	□ 休止	□ 完了				
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

交通系 I C カード活用効率化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	京福バス株式会社、福井鉄道株式会社				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 新たに開発された「I COCA Web定期券サービス」を路線バス・地域鉄道事業者を導入することより、県民の I C カード定期券の購入および乗継利用時の利便性を向上させる						[問題・課題を表す客観的データ] 定期券販売窓口 京福バス 4 か所 (8:00~17:00頃)、福鉄バス 2 か所 (8:00~17:00頃) 福井鉄道 5 か所 (7:00~19:00頃)、えちぜん鉄道 15 か所 (6:30~19:30頃)						
[事業目的] 県民の I C カード定期券の購入および乗継利用時の利便性を向上させるとともに、人材不足の地域交通事業者のサービス向上と省力化を支援する。												
[事業内容] I COCA Web定期券サービス導入支援 補助対象 交通系 I C カード定期券をWEB上で購入するシステム導入に要する経費 補助率 県 10/10												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,018千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新モビリティサービス推進事業 (実績) 路線バス等の経路検索、キャッシュレス手段の導入、鉄道とバスの共通定期券や乗継割引などの検討・実証の支援、バス路線等の乗継拠点の環境整備を支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

交通系 I Cカード活用効率化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	京福バス株式会社、福井鉄道株式会社				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,000				4,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						4,000						
2月現計予算額の推移					7,000							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	定期券購入の利便性向上 (目標) 実績								ICOCA定期券購入の利便性向上を図るものであり、成果指標の数値設定になじまない			
活動指標	Web定期券サービスの導入 (目標) 実績					完了		完了				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
システム開発に向けた補助を実施し、Web定期券サービスの導入に向け計画通り進捗				計画どおり事業を実施見込み				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

サイクリング環境向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	市町、民間事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3~1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[福井県自転車活用推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 県民の健康増進や自家用車に頼り過ぎない社会の実現、観光振興のため、子どもから高齢者まで幅広い世代の県民が利用でき、環境にも優しい身近な交通手段である自転車のさらなる利用促進を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・自転車の利用頻度(週1回以上自転車を利用する割合) 29%(県民調査) ・1か月間の自転車の平均使用頻度 9.4日(全国平均10.2日)						
[事業目的] 自転車イベントの開催を支援することにより自転車利用を普段の生活に取り入れるきっかけをつくとともに、自転車の駅を整備することにより自転車を利用しやすい環境を整える。												
[事業内容] ○「自転車の駅」整備補助金 (1) 補助対象者 新たに自転車の駅を整備する市町、民間事業者 (2) 補助率 県1/3(市町・民間事業者2/3) (3) 補助上限 20千円/箇所 ○自転車イベント開催支援 (1) 補助対象者 県内で自転車イベントを開催する市町、民間事業者 (2) 補助率 県1/2(市町・民間事業者1/2) (3) 補助上限額 100千円/事業者												
[受益者] レンタル・シェアサイクル利用者						[想定される受益者数] 3万6千人						
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 自転車利用促進事業 (実績) 「福井県自転車活用推進計画」の策定					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町の自転車活用推進計画策定促進のための説明会を開催					他県の状況	—					

サイクリング環境向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	市町、民間事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/3~1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,200	600				600		新しい地方経済・生活環境創生交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						1,200							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	自転車イベント参加者数 (目標) 実績					(300)	(300)	(300)	30名/回×10回 (イベント回数)				
活動指標	自転車イベント開催支援数 (目標) 実績					(10)	(10)	(10)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

路線バス事業者における外国人材確保事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県、事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 近年、公共交通の運転士の高齢化や不足、長時間労働が課題となっている中、減便など利用者の利便性に深刻な影響が出ることが懸念されることから、外国人運転士の確保対策を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内有効求人倍率 (R6.9) 運輸2.97 全体1.93						
[事業目的] 本県に適した外国人材の採用方法を検討するとともに、路線バス事業者の受入環境を整備する。												
[事業内容] ○路線バス事業者における外国人運転士の受入環境整備を支援 ○特定技能を希望する日本語学校留学生や技能実習生を支援 ○外国人材採用準備にかかる費用を補助 ○外国人材の確保・育成に向けた検討会を開催												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—				他県の状況		—					

路線バス事業者における外国人材確保事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県、事業者				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9	年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,831	3,430			6,401	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						9,831						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特定技能試験受験者支援数 (目標) 実績					(10)	(10)	(10)	県支援を活用した特定技能試験の受験者数			
活動指標	検討会実施回数 (目標) 実績					(4)	(4)	(4)	年4回			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

日本版ライドシェア実装支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	市町、タクシー協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3~1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 人口減少・高齢化が続く中、バス減便やタクシー事業者の廃業など、既存の公共交通機関が失われてきており、県民の日常生活に少なからぬ影響を及ぼしている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県人口 H25年10月：794,492人 → R5年10月：744,568人 (△6.3%) ・県の65歳以上人口 H25年10月：211,981人 → R5年10月：232,132人 (+9.5%)						
[事業目的] 日本版ライドシェアを社会実装に移行するため、市町や事業者の取組みを支援する												
[事業内容] ○日本版ライドシェアの運行に対する支援 補助対象者 : 市町 補助対象経費：日本版ライドシェアの運行にかかる経費 補助率 : 1/2 (負担割合：県1/3、市町1/3、事業者1/3) ○配車アプリの普及・広報に対する支援 補助対象者 : タクシー協会 補助対象経費：車両ラッピング、WEB広告など配車アプリのPR経費 補助率 : 1/3												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,018千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 タクシードライバー確保対策実証事業 (実績) 配車アプリ使用手数料や運行管理費など日本版ライドシェアの実証運行に必要な経費を支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と協調した日本版ライドシェアの運行支援を実施					他県の状況						

日本版ライドシェア実装支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	市町、タクシー協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3~1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,550	3,275			3,275	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等]											(単位：千円)	
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					3,275							
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	配車実績 (1時間あたり)	(目標)				(0.7)	(0.7)	(0.7)	配車アプリによるタクシー配車件数の全国平均 (0.7件/時間)			
活動指標	補助事業件数	(目標)				(3)	(3)	(3)	補助対象事業数 (日本版ライドシェア運行支援)			
	実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県都グランドデザイン推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出博行			
事業主体	県都にぎわい創生協議会、福井市、福井商工会議所、民間団体				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金、補助、直営													
補助率	1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[県都グランドデザイン]							
[解決すべき問題・課題] 福井県は100年に一度の大きなチャンスを抑えており、県都の玄関口となる福井駅周辺は10年後、20年後を見据えた長期展望に立ったまちづくりを進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・郊外からまちなかへの移動が全体の6%に留まっており、郊外で完結するライフスタイルが定着し、まちなかが目的地となっていない(第3回福井都市圏パーソントリップ調査(H17)) ・北陸新幹線福井開業 R6.3.16								
[事業目的] 県都グランドデザインに位置付けたプロジェクトを推進することにより、福井まちなかにおいてにぎわいを生み出し、将来像として掲げた「楽しさあふれる県都」のまちづくりを進める。														
[事業内容] (1) 県都にぎわい創生事業 県都にぎわい創生協議会の開催、プロジェクトの具体化、協議会によるプロジェクトの推進(協議会等への負担金の拠出) ① 県都デザイン推進会議の開催 ② まちなか経済動向およびプロジェクトの効果の分析 ③ 「浜町ソムリエ」による浜町魅力発信 ④ 「ふくまち大学」プロジェクト (2) 県都グランドデザイン推進支援事業補助金 県都グランドデザインの短期(令和9年度まで)に位置付けられたプロジェクト等の推進 ① 福井城址周辺道路整備 ② 足羽川周辺から浜町および愛宕坂のにぎわい創出 ③ 電動カート「ふくとく」運行支援 (3) 光の川・ライトブリッジ構想 足羽川周辺のライトアップ整備 (4) 足羽川活用促進事業 地域おこし協力隊採用による足羽川活用の促進														
[受益者] 県民・まちなか観光客						[想定される受益者数] 約120万人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県都のまちづくり推進事業、福井城址周辺整備支援事業 (実績) ・R4年10月 県都グランドデザイン策定 ・～R4年度 御本丸緑地公園遊歩道等の整備完了					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	福井市と福井商工会議所と共同し、県都にぎわい創生協議会の事務局を運営、調整					他県の状況								

県都グランドデザイン推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	中出博行		
事業主体	県都にぎわい創生協議会、福井市、福井商工会議所、民間団体					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金、補助、直営												
補助率	1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	112,235	4,587			107,648	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（地方創生型）							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				104,646	135,501	112,235	プロジェクトの進捗に伴うハード事業等完了による減（スケボーフィールド・河川敷アートの整備完了、足羽川ライトアップ計画に基づく工事費の調整など）						
2月現計予算額の推移				101,046	125,176								
決算額の推移				99,791									
前年度までの 主な増減理由	R6年度 ・プロジェクトの進捗に伴う事業内容の追加による増（足羽川のにぎわい創出のための活動拠点整備完了、ライトアップ計画策定を受けた整備開始など）												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	まちなかにおける主要観光地入込客数 (セーレンプラネット・福福館・養浩館庭園・足羽山公園遊園地) (単位：万人)			(32) 実績 45	(46)	(47)	(50)	(52)	まちなかの主要観光地の入込客数が増加することがまちなかのにぎわいにつながる。実績は翌年度6月頃に公表予定。				
活動指標	県都グランドデザインのプロジェクト進捗状況の公表 (単位：回)			(1) 実績 1	(1)	(1)	(1)	(1)	年1回				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
足羽川周辺のにぎわい創出のための環境整備および取組み支援を行い、持続的に活動ができる体制構築を進めた。県都グランドデザインのプロジェクト進捗状況をR7.4月に公表予定であり、活動指標を達成				引き続き、活動拠点で行うにぎわい創出のための取組み支援など、県都グランドデザインに位置付けられた短期目標において、持続的に活動ができる体制構築の支援を行う。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

まちなか歴史資源利活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力) 政策 [10 交流を広げる基盤整備]]				関連する県の計画等	[県都デザイン戦略、県都グランドデザイン]						
[解決すべき問題・課題] 県都デザイン戦略に基づき、福井城址周辺において山里口御門の復元や中央公園の再整備等を行ってきたが、新幹線開業により増加が見込まれる観光客等に県都の魅力を感じてもらうため、福井城址を中心とする歴史資源のさらなる磨き上げが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 山里口御門(櫓内)の見学者数 平成30年度 52,180人、令和元年度 49,865人、令和2年度 20,805人、令和3年度 21,969人、令和4年度 37,403人、令和5年度 46,551人、令和6年度 49,262人(令和7年1月末時点)						
[事業目的] 県が整備・復元を行った福井の歴史資源を活用し、県民や県外客が楽しみながら歴史を感じることができる環境づくりを行う。												
[事業内容] (1) 山里口御門・福の井等の利活用 ・福の井における水汲み体験補助や県産茶の提供 ・山里口御門・福の井を活用したイベントの開催 ・山里口御門等の情報発信(リーフレット等) (2) 福井城址の利活用(石垣ライトアップ等) (3) 周辺歴史資源の保全・利活用 ・由利公正広場の利活用(夜間ライトアップ等) ・岡田啓介・松尾傳蔵像の維持管理(夜間ライトアップ等)												
[受益者] 県民・まちなか観光客						[想定される受益者数] 約120万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 福井城坤櫓等復元整備事業 (役割分担) 福井城坤櫓等復元整備事業(県)					
市町との連携状況						他県の状況						

まちなか歴史資源利活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営									H30 年度		
補助率	—									経過年数 8 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,751	1,526		使用料 30	4,195	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)(地方創生型)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	10,401	9,061	4,193	7,113	5,751	実績に合わせた石垣ライトアップ費用等の減						
2月現計予算額の推移	10,401	4,961	3,724	7,113								
決算額の推移	10,134	4,476	3,458									
前年度までの主な増減理由	R3 山里口御門の映像装置への動画追加による増 R4 映像設備コンテンツ更新経費分の減 R5 まちなか歴史周遊スポット周遊促進支援補助金の別事業(県都ブランドデザイン推進事業)への移行による減 R6 石垣ライトアップなど福井城址の活用促進に伴う運営費の増											
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	山里口御門入場者数	(目標) (60,000)	(50,000)	(50,000)	(50,000)	(50,000)	(50,000)	(50,000)	新型コロナウイルス感染拡大前のR元年度実績を超える数値を目標とする。実績は翌年度4月に公表予定。			
		実績 24,597	37,403	46,551	49,262							
活動指標	イベントの参加人数	(目標) (7,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)	新型コロナウイルス感染拡大前のR元年度実績を超える数値を目標とする。実績は翌年度4月に公表予定。			
		実績 1,283	1,482	6,668	6,786							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
イベント内容の充実や新幹線開業の効果により、山里口御門の上半期で3万を超える入館者数となっており、目標を達成する見込み。(令和6年度 来訪者数 49,262人(令和7年1月末時点))				イベント内容の充実による参加人数の増加を図るとともに、石垣ライトアップのイベント時の利用により城址への誘客を促進する。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	
										1,362		

福井城坤櫓等復元整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行						
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)					
事業実施方法	直営															R11 年度
補助率	—															
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[県都デザイン戦略、県都グランドデザイン]									
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]										
福井城址の歴史的価値に対する県民の理解を深め「県都のシンボル」として次世代に継承するため、誇りと愛着を育て「県民の城」として認識してもらう必要がある。						山里口御門（櫓内）の見学者数 平成30年度 52,180人、令和元年度 49,865人、令和2年度 20,805人、令和3年度 21,969人、令和4年度 37,403人、令和5年度 46,551人、令和6年度 49,262人（令和7年1月末時点）										
[事業目的]																
福井の新しい文化・歴史のシンボルとして、坤櫓および西側土堀を復元し、福井城址の歴史拠点としての魅力をさらに高める。																
[事業内容]																
<ul style="list-style-type: none"> ○福井城坤櫓、本丸西側土堀の復元整備 ○令和7年度事業内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 埋蔵文化財調査 坤櫓等の建設予定地で調査を実施 (2) 仮設工事 坤櫓復元工事や石垣補強工事のため、お堀を締め切り、仮設ヤードを整備 (3) 石垣補強工事 坤櫓や西側土堀建築のため、土台となる石垣部の補強工事および工事に必要な調査を実施 (4) 建築工事 木材は分離事前発注、坤櫓および西側土堀の建築工事を実施 (5) 復元整備検討委員会開催 委員会を開催し、実施設計に対する歴史的・技術的な検証や坤櫓等の整備推進、利活用方法について検討 (6) 復元に向けた気運醸成 現場見学会の開催、寄付金の募集 																
[受益者]						[想定される受益者数]										
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井城址活用推進事業 (実績) 令和4年度に福井城に関する史料・文献調査を行い、坤櫓等復元のための基礎資料を整理した。					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 まちなか歴史資源利活用事業 (役割分担) まちなか歴史資源利活用事業（県）									
市町との連携状況	—					他県の状況	石川県では金沢城を順次復元し、金沢城公園整備を行っている。 平成 8年→17年 第1期整備 事業費235億円 (菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓) 平成18年→26年 第2期整備 事業費64億円 (河北門、橋爪門、いもり堀等) 平成27年→ 第3期整備 (鼠多門、鼠多門橋等)									

福井城坤櫓等復元整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	548,998		245,000	288,000	寄付金 繰入金 1,010	14,988		社会資本整備総合交付金（広域連携事業、都市公園事業）						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					78,833	87,078	548,998	事業内容、進捗による増						
2月現計予算額の推移					78,833	87,078								
決算額の推移					77,900									
前年度までの 主な増減理由	事業内容、進捗による増													
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績									完成年度は未定のため、成果指標の設定になじまない。				
活動指標	坤櫓等の復元整備完了				(基本設計) 基本設計	(実施設計) 実施設計	(工事着手)		(復元完了)					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
福井城坤櫓等復元整備実施設計を実施し、復元整備に向け計画通り進捗。					実施設計の成果に基づき、復元工事等に着手				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

敦賀のまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	敦賀まちづくり協議会、敦賀市				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	負担金、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画、敦賀のまちづくりアクションプログラム]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業時の当面の終着駅となり、嶺南地域の広域観光の玄関口となる敦賀において10年後、20年後を見据えたまちづくりを進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 新幹線開業後9カ月間の敦賀市主要施設の来訪者数：534,925人（前年比142.76%）						
[事業目的] 新幹線効果を最大化、持続化させるための「敦賀まちづくりアクションプログラム」に基づき、まちづくりを推進する。												
[事業内容] 1 敦賀のまちづくり推進事業 ・プロジェクトの具体化、協議会によるプロジェクトの進捗管理（協議会への負担金の拠出） 2 金ヶ崎周辺魅力づくり推進事業 ・アクションプログラムに位置づけたプロジェクトの実行支援 神楽通り参道化事業 ・敦賀市が行う神楽通り参道化整備に対する支援												
[受益者] 敦賀市への来訪者						[想定される受益者数] 317万人（R5 敦賀市への観光客入込客数（延べ人数））						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 金ヶ崎周辺魅力づくり推進事業 (実績) 「金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画」を策定				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) —				
市町との連携状況		「敦賀まちづくり協議会」に県も参画して協議する。				他県の状況		—				

敦賀のまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	敦賀まちづくり協議会、敦賀市				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	負担金、補助												
補助率	1/2												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	60,150			60,000		150							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						49,913	60,150	事業内容、進捗による増					
2月現計予算額の推移						49,913							
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由			—										
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	敦賀市への観光入込客数の（目標） 増加（単位：万人） 実績							(283)	(306)	金ヶ崎地区および神楽通りの整備等により、令和4年度の敦賀市への年間観光入込客数から45万人増加。			
活動指標	金ヶ崎地区および神楽通り（目標） の整備完了 実績												
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
効果発現は金ヶ崎地区および神楽通りの整備以降となる。					神楽通りの整備を行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線駅等タクシー確保対策事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町、事業者				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機にタクシーを利用して目的地まで移動する方の増加が想定され、来県者等が目的地まで円滑に移動するためには、新幹線等の到着に合わせて駅待ちするタクシーを確保する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 芦原温泉駅 : 3, 760人/日 (出典: 芦原温泉駅周辺整備基本計画書) 敦賀駅 : 9, 300人/日 (出典: H26 敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)						
[事業目的] 北陸新幹線利用者の利便性向上のため、新幹線駅等の駅待ちタクシーを確保するとともに、タクシー運転手確保に向けて企業等退職予定者の二種運転免許取得を支援する。												
[事業内容] (1) 新幹線到着時における駅待ちタクシーの確保 ・新幹線各駅に設置したライブカメラを活用し、タクシー利用者の状況に応じて各事業所が駅配車を行う。 ・新幹線到着時刻に駅で待機したタクシーに対して営業補償を行う。(越前たけふ駅、敦賀駅) 配車台数 越前たけふ駅、敦賀駅各3台(駅ごと・日ごとに当番制を導入) (2) 芦原温泉駅・あわら湯のまち駅夜間タクシーの確保 ・観光客や旅館の利用客のニーズに対応できるよう、芦原温泉駅やあわら湯のまち駅において夜間待機するタクシー数を増車 補助率 県1/2、あわら市1/2 増車台数 芦原温泉駅、あわら湯のまち駅各2台 (3) セカンドキャリア運転手担い手推進事業 ・退職前の会社員等のセカンドキャリアとしてタクシー運転手等を選択してもらえよう、二種免許取得費用を支援(20人分)												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 2,000万人(ふくい観光ビジョン観光客入込数目標値(令和6年))						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	あわら市と協調して補助を実施					他県の状況	—					

新幹線駅等タクシー確保対策事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町、事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				0	18,466	-						
2月現計予算額の推移				2,928	16,928	-						
決算額の推移				2,881		-						
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	配車台数の増加 (目標) 実績				(10)			(10)	芦原温泉駅+2台、あわら湯のまち駅+2台(夜間) 越前たけふ駅+3台、敦賀駅(東口)+3台 ※新幹線開業後の実績は4月に確定			
活動指標	配車支援する駅 (目標) 実績				(4) 4			(4)	新幹線3駅(越前たけふ駅、敦賀駅、芦原温泉駅)+あわら湯のまち駅			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
新幹線3駅(越前たけふ駅、敦賀駅、芦原温泉駅)+あわら湯のまち駅における配車を支援し、活動指標を達成								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	18,466	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

タクシードライバー確保対策実証事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	事業者				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 近年、タクシー運転士の高齢化や不足、長時間労働が課題となっている中、タクシーが不足すると利用者の利便性に深刻な影響が出ることが懸念されることから、運転士確保対策を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 芦原温泉駅 : 3, 760人/日 (出典: 芦原温泉駅周辺整備基本計画書) 敦賀駅 : 9, 300人/日 (出典: H26敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)						
[事業目的] タクシードライバーの確保に向けて、国の規制緩和の動向を踏まえ、新たな輸送サービスの検討や実証を進める。												
[事業内容] (1) 新たな輸送サービスの内容等を検証する検討会の開催 開催回数: 3回 (2) 新たな輸送サービスの実証運行の実施 実施地域: 8市町												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,018千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

タクシードライバー確保対策実証事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					15,734	-						
2月現計予算額の推移					15,734	-						
決算額の推移						-						
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	実証運行の実施 (目標) 実績				(8) 8			(8)	新たな輸送サービスの実証運行実施件数			
活動指標	検討会の実施 (目標) 実績				(3) 3			(3)	検討会の開催件数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
8市町（福井市、あわら市、坂井市、鯖江市、越前市、大野市、永平寺町、敦賀市）で実証運行を実施し、成果指標を達成 検討会において成果と課題を検証し、活動指標を達成（3回開催）								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	15,734	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

タクシーDX化支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体		タクシー協会			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 本県のタクシー業界は高齢化や人手不足、コロナ禍の影響により厳しい経営状況に置かれている。						[問題・課題を表す客観的データ] 配車アプリ導入率(R3年度末時点) 福井県 12.0%、東京都 93.5%、富山県 43.6%、石川県 42.6% 交通系ICカード決済対応率(R3年度時点) 福井県 7.0%、富山県 23.3%、石川県 40.5%						
[事業目的] タクシー配車アプリの導入支援を行うことにより、利用者の利便性向上と事業者の経営改善を図る。												
[事業内容] タクシー配車アプリの導入経費を補助する。 補助件数：40件 補助率：10/10												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,018千人(R5年度)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

タクシーDX化支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	タクシー協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					0	4,901	-					
2月現計予算額の推移					189,732	4,901	-					
決算額の推移					173,979	-						
前年度までの 主な増減理由	令和5年度はキャッシュレス決済システム導入への支援もあわせて実施											
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	配車アプリ導入率	(目標)			(50)	(60)			(60)	配車アプリ導入率 (単位：%)		
		実績			56	63			63			
活動指標	補助件数	(目標)			(321)	(40)			(361)	補助タクシー台数 (単位：台) ※最終目標は累計		
		実績			370	42			412			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
配車アプリ導入率について6割を達成し、成果指標を達成 42台に補助を実施し、活動指標を達成								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	4,901	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

省エネタクシー車両導入緊急支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
新幹線開業による観光客等のタクシー利用増が見込まれる中、県内でのオートガススタンド廃止の影響によりタクシー台数の確保が困難となっている。						オートガススタンド廃止となる市町内LPG車両数 (R5支援前の車両数) 敦賀市80台、小浜市20台、美浜町11台、若狭町2台、越前市8台、南越前町1台、大野市7台、勝山市7台						
[事業目的]												
影響を受ける市とともにタクシー事業者のLPG車両から省エネ車両への入れ替えを支援し、タクシー台数の維持・確保を図る。												
[事業内容]												
タクシー車両のLPG車から省エネ車 (HV、EV、PHEV、FCVに限る) への車両更新費を補助する。 補助率：1/2 (市1/2) 補助額：新車 300千円 中古車 200千円 ※EV、PHEV、FCV、車いす対応は100千円加算												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人 (R5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と協調補助					他県の状況	—					

省エネタクシー車両導入緊急支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					0	7,200	-					
2月現計予算額の推移					30,700	9,300	-					
決算額の推移					23,800	-	-					
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	省エネタクシー入替台数	(目標) 実績			(111) 89	(24)			(135)	省エネタクシー入替台数(単位：台) ※最終目標は累計。年度末にかけて入替中のため、4月に実績確定		
活動指標	補助件数	(目標) 実績			(7) 7	(4) 6			(10)	補助対象件数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
6市町(敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、美浜町)に補助を実施し、活動指標を達成								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	7,200	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

金沢・福井間新幹線連絡バス運行事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井開業後、東京発の「かがやき」最終便が金沢駅止まりとなるため、金沢駅から福井駅までの移動手段がなく、利用客の利便性が確保されていない。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線「かがやき」519号(最終便)東京発 21:04 金沢着 23:32 ⇒ 1便前の「はくたか」577号は東京発が20:12であり、滞在時間が1時間短くなる						
[事業目的] 北陸新幹線利用者の利便性向上を図るため、「かがやき」東京発最終便に接続する連絡バスの実証運行を実施する。												
[事業内容] ○「かがやき」東京発最終便に接続する金沢・福井間の連絡バスを運行 ・実施方法 県内バス事業者への運行委託 ・ダイヤ(予定) 金沢駅発 23:50 ⇒ 福井駅着 01:15												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人(R5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

金沢・福井間新幹線連絡バス運行事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						28,358	-					
2月現計予算額の推移						16,938	-					
決算額の推移							-					
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績									実証運行中の利用状況等に応じた運行方法や目標値の見直し予定であり、成果指標の設定に馴染まない		
活動指標	平均乗車人数	(目標) 実績				(15) 2			(15) 2	国の地域間幹線系統（広域路線）補助要件（輸送量15～150人/日）		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
事業実績 ・運行期間：令和6年3月16日～5月31日（延べ77日） ・総利用者数：164名 ・平均利用者数：約2名									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	28,358
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

路線バス半額利用キャンペーン事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体		県、バス事業者			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 人口減少によりバス路線の利用者数は減少しており、地域住民の移動手段として必要不可欠なバス路線の維持・確保が困難になっている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県人口 H25年 1月：798,633人 → R5年 8月：745,376人 (△6.7%) ・県の65歳以上人口 H24年10月：205,358人 → R4年10月：232,706人 ・バス利用者 H25年 6,197人 → R4 4,582千人 (△26.1%)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に合わせて利用者の利便性向上を図る。												
[事業内容] ○交通系 ICカード利用者が路線バスを半額で乗車できるキャンペーンを実施 事業期間：令和6年4月～5月(土日祝、GW期間)												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 2,000万人(ふくい観光ビジョン観光客入込数目標値(令和6年))						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		バス無料デー (徳島県) 令和5年：年4回実施 対象路線：県内5社が運行する全路線、全線区(コミュニティバス除く) (佐賀県) 令和5年：年17回実施 対象路線：県内7社が運行する路線バス、コミュニティバス				

路線バス半額利用キャンペーン事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行				
事業主体	県、バス事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			2 年
補助率	定額														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				0	29,084	-									
2月現計予算額の推移				25,453	17,150	-									
決算額の推移				12,750	-	-									
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	バス利用者数 (千人) (目標) 実績				(5,835)			(5,835)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度5月頃に公表予定						
活動指標	バス半額デー利用者 (目標) 実績				(13,512) 10,676			(13,512)				1日当たり平均利用者数9,008人×1.5倍(事業効果)=13,512人(目標値)			
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
<外的要因> 事業期間中の利用者が通常時の利用者数から約1.2倍に増加しており、一定の効果は見られたものの、交通系ICカード利用者が想定水準まで達しなかったことにより活動指標は未達成								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	29,084				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

地域公共交通等燃料価格高騰対策支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出 博行		
事業主体		公共交通事業者			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 交通事業者等は、コロナ禍による利用者減少や燃料価格高騰による厳しい経営状況が続いている。						[問題・課題を表す客観的データ] 燃料価格(軽油) R3:134.7円/ℓ → R4:149.7円/ℓ (+15.0円/ℓ) 燃料価格(ガソリン) R3:155.5円/ℓ → R4:170.2円/ℓ (+14.7円/ℓ) 燃料価格(LPガス) R3:91.4円/ℓ → R4:110.9円/ℓ (+19.5円/ℓ)						
[事業目的] 地域の生活や経済を支える社会インフラとして事業を継続している交通事業者等に対し、燃料価格の高騰分を支援することにより、地域に不可欠な交通手段の維持を図る。]						
[事業内容] 交通事業者等の燃料価格高騰分に対し支援を実施 ①路線バス：燃料価格高騰分を実績に応じて全額支援 ②高速・空港連絡バス：燃料価格高騰分を実績に応じて全額支援 ③タクシー・運転代行：開業時期に応じて25千円/台(1年分)、12.5千円/台(半年分)、6.3千円/台(3カ月分)を支援 ④トラック：開業時期に応じて5～30千円/台(1年分)、2.5～15千円/台(半年分)、1.1～7.5千円/台(3カ月分)を支援												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 20,006千人(R5年度)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	沿線市町と協調補助(路線バス)					他県の状況	国の交付金を活用した同種事業あり					

地域公共交通等燃料価格高騰対策支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	中出	博行	
事業主体	公共交通事業者				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			0	0	0	-						
2月現計予算額の推移			228,753	237,112	209,145	-						
決算額の推移			207,100	203,101		-						
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								全国的な課題である燃料価格の高騰に対応するものであり、成果指標の数値設定になじまない			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
路線バス、高速・空港連絡バス、タクシー、自動車運転代行、トラック事業者に補助金を支給し、交通事業者等の車両台数の維持および安定運行につなげた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		